

1. 補助事業名

放射線利用・原子力基盤技術人材育成事業

2. 補助事業の事業主体

福井県

3. 補助事業の実施場所

福井県工業技術センター	(福井市川合鷺塚町6-1-10)
福井県食品加工研究所	(坂井市丸岡町坪ノ内1-1-1)
福井県園芸研究センター	(美浜町久々子3-5-32-1)
福井県総合グリーンセンター	(坂井市丸岡町楽間1-5)
福井県若狭湾エネルギー研究センター	(敦賀市長谷6-4-52-1)

4. 補助事業の概要

本事業では、5年間の人材育成研修計画を策定し、若狭湾エネルギー研究センターが持つイオンビーム照射やレーザー利用の技術を県内各公設試験研究機関の研究員にも修得してもらうために研修を実施している。また、この研修により、地元企業や農家に対する技術相談・移転を行っている各公設試験研究機関から、地域に対してもイオンビーム照射やレーザー利用の技術が展開していくことも目的としている。

平成28年度は、花き類や野菜の品種改良、金属等の材料改質、難加工材のレーザー加工の3分野に関する研修を行った。

5. 補助事業に要した経費及び補助金充当額

イ 補助金事業に要した経費	96,757,293円
ロ 補助金充当額	96,756,953円

6. 補助事業の成果及び評価

平成28年度は30回の研修を実施した。

品種改良に係る人材育成では、花き類については主にキクを題材に花芽形成期へのイオンビーム照射を行い、変異の出現の仕方を観察したことにより、変異予測の手法を学ぶことができた。また、野菜類についてはトマトを題材に照射を行った。トマトについては照射による発芽率に顕著な差異は認められなかったが、照射方法を学んだことにより、トマト以外の野菜に対してイオンビームを利用することについても検討が可能となった。

材料改質に係る人材育成では、イオンビームの照射等によって、シリコンを成膜することで金属表面への加飾について学び、その技術を修得することができた。

レーザー加工に係る人材育成では、3次元レーザー同時計測加工高速走査システム等を用いて、異種金属接合等の知識および技術を修得することができた。

また、研修を受講した各公設試験研究機関からは今回の研修で学んだ知識および技術について、現在取り組んでいる課題においても生かすことができる他、地元企業等への技術指導・相談に生かすことができるとの評価を受けた。

なお、研修の内容を活かして、企業等の相談に11件対応した。